

# チャレンジ鹿児島労働局（22年5月）

鹿児島労働局

〒892-0816 鹿児島市山下町13-21

099-223-8275

URL <http://www.kagoshima.plb.go.jp>

## 4月の有効求人倍率は0.44倍で

### 前月を0.01ポイント上回る

鹿児島県の4月の有効求人倍率(季節調整値)は0.44倍となり、前月(0.43倍)を0.01ポイント上回りました。

新規求人倍率(季節調整値)は0.80倍となり、前月(0.82倍)を0.02ポイント下回りました。

新規求人数は前年同月比20.2%の増と3ヶ月連続の増加となりました。

産業別では、建設業(10.3%増)は3ヶ月連続の増加、製造業(67.1%増)は7ヶ月連続の増加、運輸業、郵便業(21.1%増)は3ヶ月連続の増加、卸売業、小売業(5.5%増)は2ヶ月連続の増加、宿泊業、飲食サービス業(15.9%増)は2ヶ月連続の増加、医療・福祉(8.1%増)は3ヶ月連続の増加、サービス業(30.7%増)は6ヶ月連続の増加と殆どの主要産業で増加となりました。

新規求職者数は前年同月比0.3%の増加で2ヶ月連続の増加となりました。

新規常用求職者の態様別では、在職求職者(12.2%増)は2ヶ月連続の増加となりました。また、離職求職者(1.5%減)は再び減少、無業求職者(1.1%増)は6ヶ月連続の増加となりました。

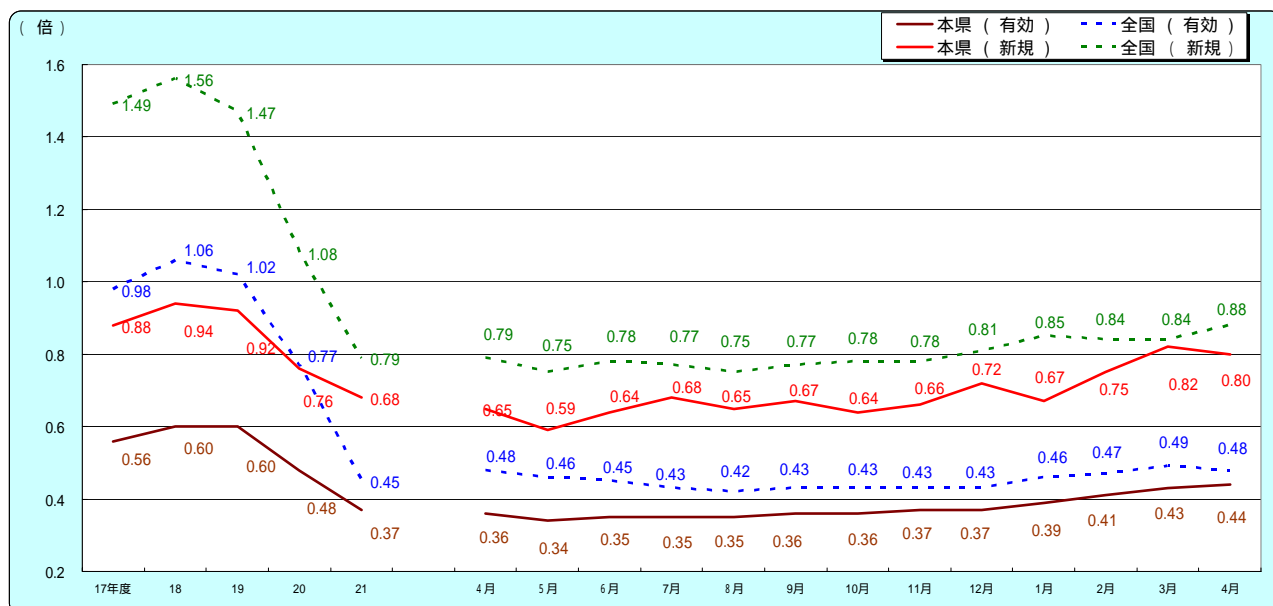
離職求職者の内訳では事業主都合離職者(13.8%減)は5ヶ月連続で減少し、自己都合離職者(7.2%増)は3ヶ月連続の増加となりました。

政府の5月の月例経済報告では、景気の基調判断を、「着実に持ち直してきているが、なお自律性は弱く、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。」と2ヶ月連続で景気判断を据え置き、雇用情勢については、悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要であると報告されています。

鹿児島県の雇用情勢は、新規求人は先月と同様、製造業の一部を中心に持ち直しの動きが見られるが、正社員求人の割合が低く、一方、新規求職は前年同月比で増加し、有効求職は高水準で推移していることから、依然として厳しい状況が続いており、今後の動きについては、引き続き注視が必要と思われます。

鹿児島労働局では厳しい雇用情勢の下、雇用のセーフティネットとして、緊急的な支援措置、緊急雇用創造プログラムの推進を柱とする緊急雇用対策を積極的に活用し、雇用維持や再就職支援等に取り組み、今後とも一層効果的な行政の展開に努めて参ります。  
(職業安定部職業安定課)

### 有効(新規)求人倍率の推移



# 雇用失業情勢の厳しい地域の雇用創出を支援！

## ～地域雇用創造推進事業等・平成22年度第1次採択地域を決定～

全国的に雇用失業情勢が厳しいなか、特に厳しい状況が続いている鹿児島県では、全国との地域格差が生じています。

このようななか、厚生労働省では、関係者が連携して創意工夫や発想を活かした雇用創出に取り組む地域に対し、助成金の交付などの支援「地域雇用創造推進事業（パッケージ事業）」を平成19年度より実施しているところですが、今回、新たに2地域（鹿屋市、知名町）が対象となりました。

さらに、パッケージ事業を実施している地域において、より効果的に雇用創出を図るため、地域ブランド商品の開発や地場産品の販路開拓などを行う事業「地域雇用創造実現事業」も実施しており、今回、新たに1地域（南大隅町）が対象となりました。

労働局では、今後も鹿児島県及び市町村と連携を密にし、地域の活性化のため雇用の場の拡大を図っていきたいと考えております。

### \* 地域雇用創造推進事業（パッケージ事業）

#### 【鹿屋市】

「食（農林水産物）」と「観光」を連携させた内発型産業構造への転換による雇用の創造

#### 【知名町】

「南国知名町の人間地域資源を活かしたまちづくり」を将来像とした雇用の創出

### \* 地域雇用創造実現事業

#### 【南大隅町】

地域食材加工による雇用創出と活性化

（職業安定部職業対策課）

#### 地域雇用創造推進事業（パッケージ事業）

地方公共団体等との連携の下に、地域の協議会が提案した雇用対策に係る事業構想の中から、コンテスト方式により雇用創造効果が高いと認められるものを選抜し、当該協議会に対しその事業の実施を委託するもの。

現在、県内9地域（鹿児島市、指宿市、西之表市、奄美市、宇検村、伊仙町、伊佐市、徳之島町、南大隅町）に事業を委託している。

#### 地域雇用創造実現事業

パッケージ事業を実施する地域雇用創造協議会から、パッケージ事業による支援を通じて育成した人材等を活用し、波及的に地域の雇用機会を増大させる効果が見込まれる地域の産業及び経済の活性化等に資する事業の提案を受け付け、そのうちの雇用創造効果の高いと認められる事業の実施を、事業を提案した協議会へ委託するもの。

現在県内6地域（垂水市、指宿市、奄美市、伊佐市、伊仙町、宇検村）に事業を委託している。

## 労働保険の申告・納付は7月12日までに

平成22年度の労働保険の年度更新時期は、6月1日から7月12日までの期間です。

鹿児島労働局では、労働保険徴収室を始め県内の42会場で、労働保険料の概算・確定申告の受付を行う予定です。

労働保険料は、

業務上又は通勤途中における負傷等に対して必要な保険給付（労災保険）

失業した場合等に生活の安定を図り求職活動を行うための保険給付（雇用保険）

事業主が経済上の理由により事業の縮小を余儀なくされた場合に、その雇用する労働者の雇用を維持するための助成（雇用調整助成金）

等といったセーフティネットの基になるものです。

また、全ての労災保険適用事業主を対象に、石綿健康被害救済のための一般拠出金も労働保険料と同時に申告・納付していただくことになります。

事業主の皆様には、法定期限の7月12日までに労働保険料の申告・納付をしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

（総務部労働保険徴収室）